

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】GI-23

申請日	2018/7/19	承認日	委員長	印
レジメン登録	2023/10/1	仮承認日	承認者	印

GEM+CDDP+S-1(GCS)	病名	胆道癌	消化器内科	医師名	Dr
対象	切除不能胆道癌				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)													
			1	5	8	10	15	20	25	30						
ゲムシタビン	1000mg/m ²	div	○													
シスプラチン	25mg/m ²	div	○													
S-1	※	po(朝)	○	○	○	○	○	○								
	※	po(夕)	○	○	○	○	○									

投与間隔・休薬期間等: 14日=1コース

【投与処方例(前投薬など)】

*ゲムシタビン投与中は温罨法を行う。

- ① メインルート【緑】生理食塩液250mL / div
- ② Y側管【水色-1】ソリタT3 500mL /div 1時間
- ③ Y側管【水色-2】ソリタT3 500mL /div 1時間
- ④ Y側管【水色-3】生理食塩液500mL /div 1時間

- ⑤ メイン【赤-1】 生理食塩液100mL+アロカリス1V+パロノセトロン1V+デキサート4mg /div 30分
- ⑥ メイン【赤-2】 生理食塩液500mL+シスプラチン /div 2時間
- ⑦ メイン【白】 5%ブドウ糖液100mL+ゲムシタビン /div 30分

* 腎機能低下時の減量方法については、クレアチンクリアランスに応じて、シスプラチンの投与量を変更すること

※シスプラチン

Ccr46～60mL/min 75%Dose

Ccr31～45mL/min 50%Dose

Ccr30未満以下は禁忌。

* 腎機能低下時の減量方法については、クレアチンクリアランスに応じて、S-1の投与量を変更すること

Ccr60～80mL/min 初回量より必要に応じて1段階減量

Ccr40～59mL/min 原則として1段階減量

Ccr30～39mL/min 原則として2段階減量

Ccr30未満は禁忌

※S-1の内服量

血液毒性・非血液毒性発現時の休薬・減量・再開基準を参考にする。

体表面積	1回用量※	1段階減量	2段階減量
～< 1.25m ²	40mg/回	30mg/回	25mg/回
1.25m ² ≤ ～< 1.5m ²	50mg/回	40mg/回	30mg/回
1.5m ² ≤ ～	60mg/回	50mg/回	40mg/回

※ゲムシタビン

Ccr59mL/min 投与量は基本的に正常者と同じだが、ゲムシタビンの代謝物のクリアランスが

低下するため慎重に投与する必要がある。

【提出論文】JCOG0805試験;Morizane C et al : Cancer Sci 104 (9) : 1211-1216 (2013)